

**長野県職員採用試験（高校卒業程度）**

**公表用例題（農業 2 題）**

**例題 1**

草花のたねまきとその後の管理に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. シクラメンの種子は暗発芽種子であるため、覆土した後、新聞紙などで覆って湿度を保つ。
2. ケイトウの種子は明発芽種子であるため、覆土せず、ガラス板などで覆って湿度を保つ。
3. 微粒種子は、覆土した後、底面給水あるいはミストによってかん水する。
4. 種子に覆土する場合、種子が動かないように重い土を用い、覆土の厚さは種子の厚さの2～3倍とする。
5. 一般に、草花の発芽適温は生育適温よりも低いことが多く、発芽が揃うまでは温度を12～15℃程度に保つ。

正答番号 1  
出題分野【草花】

**例題 2**

豚の肥育に関する次のA～Dの記述のうちから、正しいものを二つ選んでいるのはどれか。

- A. 体の発育過程には一定の順序があり、骨、筋肉、脂肪組織の順に発達する。
- B. 交雑種は発育がふぞろいになりやすいので、肥育素豚には純粋種が多く用いられる。
- C. 群飼育では個体間に発育差が生じやすいので、単飼育が一般的である。
- D. 肥育後期には、赤肉量を多くするため、飼料の栄養価を下げる。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. A, D
- 4. B, C
- 5. B, D

正答番号 3  
出題分野【畜産】